

(別紙)

障害福祉分野のロボット等導入支援事業(令和4年度第二次補正予算分)
(施設等に対する導入支援分) 事業報告書

自治体名 長野県

【基本情報】

Table with 2 columns: Field (フリガナ, 法人名, etc.) and Value (シャカイフクシホウジン シモイナシャカイフクシカイ, etc.). Includes total staff count: 43.0人

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

- 機器の種別: 移乗介護, 排泄支援, 入浴支援, 移動支援, 見守り・コミュニケーション

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

Table showing business content, staff count, occurrence count, and person-hours before robot introduction.

- ※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

Calculation box: 排泄介助対象者6名(下剤投与が必要で3日に1度排泄)、月10回の排泄介助が必要→6名×10回=60件

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

Calculation steps: ①排泄ワゴン車の準備...6分, ②排泄介助時間...5分×6名=30分, ③汚物処理...7分×6名=42分, ①+②+③=78分 78分÷6名=13分

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

Table showing business content, staff count, occurrence count, and person-hours after robot introduction.

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

Calculation box: 排泄介助対象者6名(下剤投与が必要で3日に1度排泄)、月10回の排泄介助が必要→6名×10回=60件

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

Calculation steps: ①排泄ワゴン車の準備...6分, ②排泄介助時間...5分×6名=30分, ③汚物処理(汚物をその場でワゴン車の汚物入れに廃棄)...2分×6名=12分, ①+②+③=48分 48分÷6名=8分

年間業務時間数想定削減率(%)

38.5%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

汚物処理時間を大幅に短縮できたため。

(4)ロボット機器等の導入により得られた気づきや今後の課題等について必ず記載すること。

・排泄介助をより快適で衛生的に行うことができるようになり、業務の省力化に効果があった。  
・介護ロボットを活用していることを職員採用の際にPRすることができ、職場のイメージの向上につながることを期待できる。  
・コロナ感染時においても居室外へ汚物を持ち運ぶことなく、簡単に処理することができる。

(5)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の縮減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の縮減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下を回答すること。

縮減額(円)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。